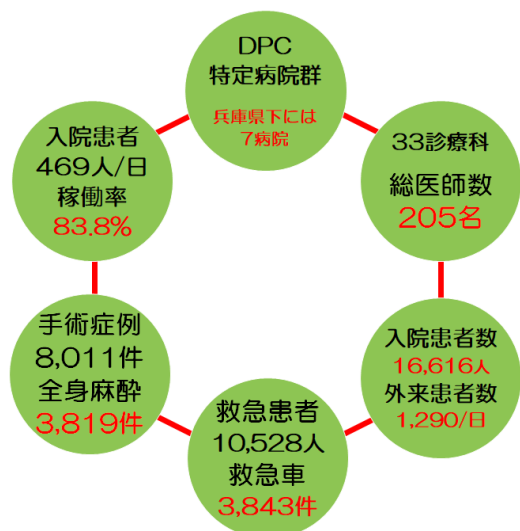


# 姫路赤十字病院 内科専門研修プログラム ダイジェスト版

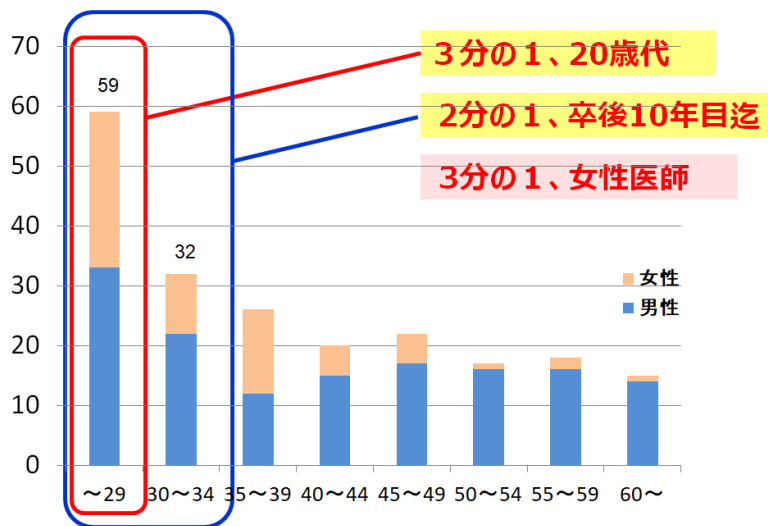
## 【病院の概要】

姫路赤十字病院は、兵庫県はりま姫路診療圏に位置して、33診療科 560床を有する地域中核病院です。

当院は、DPC 特定病院群（大学病院本院に準じた機能を有する、全国で 156 病院）と認定され、①診療密度、②医師研修の実施、③高度な医療技術の実施、④重症患者に対する診療の実施などが、高く評価されました。



2021 年度実績



医師 209 名の年齢構成

## 【内科の概要】

内科系診療科は、消化器、肝臓、血液、呼吸器、腎臓、膠原病、糖尿病、循環器、総合内科 9 領域の専門内科から成り立っています。内科指導医 19 名、うち総合内科専門医 15 名が所属し、入院患者数 6,148 人/年、外来患者数 358 人/日（86,654 人/年）で、病床数 162 床、稼働率 120%と豊富な症例があります。

内科サブスペシャリティ専門医を有し、サブスペシャリティ教育施設でもあります。

## 【内科の強み】

- \* 消化器、循環器、内分泌（非常勤）、糖代謝、腎臓、呼吸器、血液、リウマチ、アレルギー領域にサブスペシャリティ専門医が在籍しています。特に、消化器（消化管、肝臓、胆膵）、血液、腎臓、リウマチ領域で、播磨姫路診療圏で数少ない専門医が在籍していて、多彩な症例が集まることです。
- \* 地域がん診療連携拠点病院（高度型）、がんゲノム医療連携病院に指定され、がん診療も播磨姫路医療圏をリードしています。

## 【内科専門研修プログラムの概要】

多岐にわたる専門内科で幅広く研修できるうえに、それぞれのサブスペシャリティ専門医による質の高い指導を受けることができます。また、専攻医のキャリアプランに沿った研修プログラムを設定し、専攻医のニーズに合わせて、柔軟に対応致します。

## 【募集定員】8名

## 【研修計画】

専攻医のニーズに合わせて、サブスペシャリティ開始時期を選べます。

①内科標準研修タイプ：特定臓器、診療科に偏らず、幅広く内科全般を研修する

②サブスペシャリティ重点研修タイプ：サブスペシャリティの研修に比重を置いて研修する

\*サブスペシャリティ：消化器、循環器、呼吸器、血液、腎臓、肝臓、糖尿病、内分泌、リウマチ



【連携施設群】

地域医療についての研修することや経験すべき症候・症例の補完を目的として、姫路市内外、総合病院、単科病院、小規模病院と連携しています。

連携施設群	総合病院	単科病院、小規模病院
姫路市内	姫路医療センター 姫路聖マリア病院 製鉄記念広畑病院 ツカザキ病院	県立姫路循環器病センター 姫路中央病院 井野病院 綱島会 厚生病院
兵庫県内	兵庫県立がんセンター 神戸赤十字病院	
岡山県	岡山大学病院 岡山市立市民病院 岡山赤十字病院 倉敷中央病院	
大阪府		国立循環器病センター

## 基幹施設：姫路赤十字病院 概要

### 姫路赤十字病院内科の強み

\* 内科指導医 19 名（総合内科専門医 15 名）が在籍し、消化器、循環器、内分泌（非常勤）、糖代謝、腎臓、呼吸器、血液、リウマチ、アレルギー領域にサブスペシャリティ専門医が各領域を担当・指導します。特に、消化器（消化管、肝臓、胆膵）、血液、腎臓、リウマチ領域で、播磨姫路診療圏で数少ない専門医が在籍していて、多彩な症例が集まります。

\* 当院外科は、腹部、乳腺、呼吸器、心臓、小児外科が、播磨姫路診療圏で唯一揃っている施設であり、外科手術症例にも豊富に経験できます。

\* がん診療に関して、地域がん診療連携拠点病院（高度型）、がんゲノム医療連携病院に指定され、がん診療も播磨姫路医療圏をリードしています。

1) 専攻医の環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 初期臨床研修制度基幹型研修指定病院です。</li> <li>・ 研修に必要な図書室とインターネット環境があります。</li> <li>・ 姫路赤十字病院非常勤医師として労務環境が保障されています。</li> <li>・ メンタルストレスに適切に対処する部署（人事課）があります。</li> <li>・ ハラスメント委員会が整備されています。</li> <li>・ 女性専攻医が安心して勤務できるように、休憩室、更衣室、仮眠室、シャワー室、当直室が整備されています。</li> <li>・ 敷地内に院内保育所があり、月～土曜日（8 時 30 分～19 時）、火・金曜日（終日）利用可能です。</li> </ul>
2) 専門研修プログラムの環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 指導医は 19 名在籍しています。</li> <li>・ 基幹施設内に臨床研修センターと内科専門研修委員会を設置して、施設内で研修する専攻医の研修を管理し、併せて設置されるプログラム管理委員会と連携を図ります。</li> <li>・ 医療倫理・医療安全・感染対策講習会を定期的に行う（2018 年度実績 12 回）し、専攻医に受講を義務付け、そのための時間的余裕を与えます。</li> <li>・ 研修施設群合同カンファレンスを定期的に行い、専攻医に受講を義務付け、そのための時間的余裕を与えます。</li> <li>・ CPC を定期的に行う（2018 年度実績 5 回）し、専攻医に受講を義務付け、そのための時間的余裕を与えます。</li> <li>・ 地域参加型のカンファレンス（内科体験学習集談会、姫路市救急医療合同カンファレンス、姫路循環器談話会、姫路呼吸器研究会、姫路消化器病研究会；2017 年度実績 30 回）を定期的に行い、専攻医に受講を義務付け、そのための時間的余裕を与えます。</li> <li>・ 当プログラムに所属する全専攻医に JMECC 受講を義務付け、そのための時間的余裕を与えます。</li> <li>・ 日本専門医機構による施設実地調査に臨床研修センターが対応します。</li> </ul>
3) 診療経験の環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ カリキュラムに示す内科領域 13 分野のうち全分野（少なくとも 10 分野以上）で定常的に専門研修が可能な症例数を診療しています。</li> <li>・ 臨床研修制度基幹型研修指定病院です。</li> <li>・ 70 疾患群のうちほぼ全疾患群（少なくとも 35 以上）について研修できます。</li> <li>・ 研修に必要な剖検（2018 年度実績 11 体、2017 年度実績 14 体、2016 年度 13 体）を行っています。</li> </ul>
4) 学術活動の環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 臨床研究に必要な図書室を整備しています。</li> <li>・ 医中誌、PubMed、Clinical Key、Cochrane Library、DynaMed、UpToDate anywhere、今日の診療など文献検索、データベース、医療情報に加え、ジャーナル（和雑誌 108 誌、洋雑誌 81 誌購読）を取り揃えています。</li> <li>・ UpToDate anywhere を自宅 PC や mobile 機器で、いつでも、どこでも、何時間でも利用できます。（但し、通信費用は自己負担です）</li> <li>・ Clinical Key：1,100 以上の書籍・教科書、600 以上のジャーナル、17,000 以上の医療動画など豊富な医療情報を入手できます。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・倫理委員会を設置し、定期的に開催（2018 年度実績 7 回）しています。</li> <li>・治験管理室を設置し、定期的に自主研究・受託研究審査会を開催（2017 年度 6 回）しています。</li> <li>・日本内科学会総会や同地方会で積極的に発表しています（2016 年度実績 9 演題）。</li> <li>・日本赤十字社 学術総会に積極的に発表しています（2016 年度実績 2 演題）。</li> <li>・Subspecialty 学会に積極的に発表しています（2016 年度実績 18 演題）</li> </ul>																								
指導責任者	<p>向原直木</p> <p>【内科専攻医へのメッセージ】 姫路赤十字病院は、兵庫県中はりま姫路医療圏の中心的な急性期総合病院であり、消化器、肝臓、循環器、血液、呼吸器、膠原病、腎臓、糖・代謝・内分泌の専門診療を積極的に展開しています。本プログラムの基幹施設として、上記領域の専門診療並びに内科救急疾患診療を研修することにより、質の高い、幅広い診療領域に通じた、地域に根差した医療を実践できる内科専門医を育成することを目指しています。姫路赤十字病院では、主担当医として、入院から退院（初診・入院～退院・通院）までを通じて、確かな診断・治療はもとより、社会的背景・療養環境調整をも包括する全人的医療を実践できる内科専門医となれるように、しっかり指導します。</p>																								
指導医数 (常勤医)	<table> <tr><td>日本内科学会指導医</td><td>19 名</td></tr> <tr><td>日本内科学会総合内科専門医</td><td>15 名</td></tr> <tr><td>日本消化器病学会消化器専門医</td><td>10 名</td></tr> <tr><td>日本肝臓学会肝臓専門医</td><td>5 名</td></tr> <tr><td>日本循環器学会循環器専門医</td><td>4 名</td></tr> <tr><td>日本糖尿病学会専門医</td><td>1 名</td></tr> <tr><td>日本腎臓学会腎臓専門医</td><td>1 名</td></tr> <tr><td>日本呼吸器学会呼吸器専門医</td><td>1 名</td></tr> <tr><td>日本血液学会血液専門医</td><td>2 名</td></tr> <tr><td>日本アレルギー学会専門医（内科）</td><td>1 名</td></tr> <tr><td>日本リウマチ学会専門医</td><td>2 名</td></tr> <tr><td>日本消化器内視鏡学会専門医</td><td>7 名</td></tr> </table>	日本内科学会指導医	19 名	日本内科学会総合内科専門医	15 名	日本消化器病学会消化器専門医	10 名	日本肝臓学会肝臓専門医	5 名	日本循環器学会循環器専門医	4 名	日本糖尿病学会専門医	1 名	日本腎臓学会腎臓専門医	1 名	日本呼吸器学会呼吸器専門医	1 名	日本血液学会血液専門医	2 名	日本アレルギー学会専門医（内科）	1 名	日本リウマチ学会専門医	2 名	日本消化器内視鏡学会専門医	7 名
日本内科学会指導医	19 名																								
日本内科学会総合内科専門医	15 名																								
日本消化器病学会消化器専門医	10 名																								
日本肝臓学会肝臓専門医	5 名																								
日本循環器学会循環器専門医	4 名																								
日本糖尿病学会専門医	1 名																								
日本腎臓学会腎臓専門医	1 名																								
日本呼吸器学会呼吸器専門医	1 名																								
日本血液学会血液専門医	2 名																								
日本アレルギー学会専門医（内科）	1 名																								
日本リウマチ学会専門医	2 名																								
日本消化器内視鏡学会専門医	7 名																								
外来・入院患者数	<ul style="list-style-type: none"> <li>・初期臨床研修制度基幹型研修指定病院です。</li> </ul> <p>内科系外来患者 271 名（1 日平均） 内科系入院患者 168 名（1 日平均）</p>																								
経験できる疾患群	<ul style="list-style-type: none"> <li>・初期臨床研修制度基幹型研修指定病院です。</li> </ul> <p>きわめて稀な疾患を除いて、研修手帳（疾患群項目表）にある 13 領域、70 疾患群、200 疾患の症例を幅広く経験することができます。</p>																								
経験できる 技術・技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・初期臨床研修制度基幹型研修指定病院です。</li> </ul> <p>技術・技能評価手帳にある内科専門医に必要な技術・技能を、実際の症例に基づきながら幅広く経験することができます。</p>																								
経験できる 地域医療・診療連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・初期臨床研修制度基幹型研修指定病院です。</li> </ul> <p>急性期医療だけでなく、超高齢社会に対応した地域に根ざした医療、病病・病診連携なども経験できます。</p>																								
認定・指定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・初期臨床研修制度基幹型研修指定病院</li> <li>・地域医療支援病院</li> <li>・地域がん診療連携拠点病院（高度型）</li> <li>・がんゲノム医療連携病院</li> <li>・災害拠点病院</li> <li>・日本医療機能評価機構認定病院</li> <li>・各学会認定（内科関連） <ul style="list-style-type: none"> <li>日本内科学会認定医制度教育病院</li> <li>日本消化器病学会専門医制度認定施設</li> <li>日本消化器内視鏡学会専門医制度指導施設</li> <li>日本肝臓学会認定施設</li> <li>日本循環器学会認定循環器専門医研修施設</li> <li>日本腎臓学会研修施設</li> <li>日本血液学会認定血液研修施設</li> <li>日本アレルギー学会認定準教育施設</li> </ul> </li> </ul>																								

	日本リウマチ学会教育施設 日本がん治療認定医機構認定研修施設 日本臨床腫瘍学会認定研修施設 日本放射線腫瘍学会認定協力施設 日本インターベンショナルラジオロジー学会(日本 IVR 学会) 専門医修練認定施設 日本ペインクリニック学会指定研修施設 日本緩和医療学会認定研修施設 日本集中治療医学会専門医研修施設 日本急性血液浄化学会認定指定施設 日本心血管インターベンショナル治療学会認定研修関連施設 日本超音波医学会認定超音波専門医研修施設 など
--	---

## 研修計画

別表 「姫路赤十字病院 疾患群 症例 病歴要約 到達目標」 参照

主担当医として「研修手帳（疾患群項目表）」に定める全 70 疾患群、200 症例以上経験することを目標とします。

専攻医のニーズに合わせて、サブスペシャリティ開始時期を選べます。

- ①内科標準研修タイプ：特定臓器、診療科に偏らず、幅広く内科全般を研修する
  - ②サブスペシャリティ重点研修タイプ：サブスペシャリティの研修に比重を置いて研修する
- \* サブスペシャリティ：消化器、循環器、呼吸器、血液、腎臓、肝臓、糖尿病、内分泌、リウマチ

## 研修モデル

### 1 年次

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
領 域	消化器・肝臓			循環器		代謝・腎臓・膠原病			呼吸器		血液	
	希望に応じたローテーション 又は サブスペシャリティ研修											

### 2 年次 地域研修（1 年間連携施設で研修する）

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
連 携	連携 1			連携 2			連携 3			連携 4		

### 3 年次

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
選 択	選択 1			選択 2			選択 3			選択 4		
	サブスペシャリティ研修											

## 連携施設群

内科領域では、多岐にわたる疾患群を経験するための研修は必須です。姫路赤十字病院内科専門研修施設群は兵庫県中播磨医療圏、兵庫県、岡山県、大阪府内の医療機関から構成されています。

姫路赤十字病院は、兵庫県はりま姫路医療圏の中心的な急性期病院であるとともに、地域の病病・病診連携の中核病院です（地域医療支援病院）。また、地域に根ざした第一線の病院でもあり、コモ



ンディジーズの経験はもちろん、超高齢社会を反映し複数の病態を持った患者の診療経験もできます。

連携施設には、地域医療について研修することや経験すべき症候・症例を補完することを目的に、また、専攻医の多様な希望・ビジョンに合わせて、研修先を選定出来ます。

連携施設群は、

地域基幹病院：姫路医療センター、姫路聖マリア病院、製鐵記念広畑病院、ツカザキ病院

単科専門病院：兵庫県立姫路循環器病センター、兵庫県立がんセンター、姫路中央病院

地域密着型病院：井野病院、綱島会 厚生病院

高次機能病院：神戸赤十字病院、岡山赤十字病院、岡山市立市民病院、倉敷中央病院

国立循環器病センター

大学病院：岡山大学病院

で、構成しています。

得意分野として、

内科全般の高次医療：岡山大学病院、倉敷中央病院

がん診療：兵庫県立がんセンター

循環器診療：国立循環器病センター、兵庫県立姫路循環器病センター、岡山市立市民病院

岡山赤十字病院

呼吸器診療：姫路医療センター、神戸赤十字病院、岡山市立市民病院

血液診療：岡山市立市民病院

神経診療：姫路中央病院、兵庫県立姫路循環器病センター、国立循環器病センター

糖・代謝診療：兵庫県立姫路循環器病センター

救急診療：神戸赤十字病院、岡山市立市民病院、岡山赤十字病院

在宅医療：井野病院、綱島会 厚生病院

連携施設の強みを活かした領域研修を行います。

施設選定については、専攻医のご希望に応じて、連携施設合同会議にて研修領域・期間を調整します。

### 姫路赤十字病院内科専門研修施設群研修施設

	病院	病床数	内科系 病床数	内科系 診療科数	内科指 導医数	総合内科 専門医数	内科剖検数
基幹施設	姫路赤十字病院	560	155	10	17	15	11
	姫路医療センター	430	183	7	17	13	10
	姫路聖マリア病院	440	110	1	7	7	3
	製鐵記念広畑病院	362	60	7	5	2	3
	ツカザキ病院	201	76	4	7	4	2
	姫路循環器病センター	330	165	3	16	18	0
	姫路中央病院	235	45	2	2	1	4
	国立循環器病センター	612	370	10	44	18	24
	兵庫県立がんセンター	377	164	9	15	15	3
	井野病院	100	70	7	4	2	0
	厚生病院	148	148	1	6	2	0

	神戸赤十字病院	310	128	7	14	9	10
	岡山市立市民病院	400	200	11	28	21	12
	岡山赤十字病院	500	194	11	26	19	10
	倉敷中央病院	1166	501	10	71	41	16
	岡山大学病院	855	236	9	41	47	13
研修施設合計		7026	2805	109	320	356	121

各研修施設の概要（2020年4月現在）

研修可能性を3段階（○、△、×）に評価。

○：研修できる、△：時に経験できる、×：ほとんど経験できない。

病院	総合内科	消化器	循環器	内分泌	代謝	腎臓	呼吸器	血液	神経	アレルギー	膠原病	感染症	救急
姫路赤十字病院	○	○	○	△	○	○	○	○	△	○	○	○	○
姫路医療センター	○	○	○	○	○	△	○	○	△	○	○	○	○
姫路聖マリア病院	○	○	△	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○
製鐵記念広畑病院	○	○	△	×	○	△	△	△	×	×	×	×	○
ツカザキ病院	○	○	○	△	○	△	○	△	○	○	○	△	○
姫路循環器病センター	△	△	○	△	○	△	△	×	○	×	×	×	○
姫路中央病院	○	○	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	○
国立循環器病研究センター	×	×	○	△	△	△	×	×	△	×	×	×	×
兵庫県立がんセンター	○	○	△	△	×	×	○	○	×	△	×	×	×
井野病院	○	○	△	○	○	○	△	△	○	△	△	○	△
厚生病院	○	○	△	△	○	△	○	×	×	×	×	○	×
神戸赤十字病院	△	○	○	△	○	△	○	△	○	△	△	△	○
岡山市立市民病院	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
岡山赤十字病院	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
倉敷中央病院	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
岡山大学病院	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

姫路赤十字病院 疾患群 症例 病歴要約 到達目標

	内容	専攻医 3 年 修了時 カリキュラムに示す 疾患群	専攻医 3 年 修了時 修了要件	専攻医 2 年 修了時 経験目標	専攻医 1 年 修了時 経験目標	※5 病歴要約 提出数
分野	総合内科Ⅰ（一般）	1	1※2	1		2
	総合内科Ⅱ（高齢者）	1	1※2	1		
	総合内科Ⅲ（腫瘍）	1	1※2	1		
	消化器	9	7 以上※1※2	6 以上※1		3※1
	循環器	10	7 以上※2	6 以上		3
	内分泌	4	2 以上※2	2 以上		3※4
	代謝	5	3 以上※2	3 以上		
	腎臓	7	5 以上※2	4 以上		2
	呼吸器	8	6 以上※2	5 以上		3
	血液	3	2 以上※2	2 以上		2
	神経	9	5 以上※2	5 以上		2
	アレルギー	2	1 以上※2	1 以上		1
	膠原病	2	1 以上※2	1 以上		1
	感染症	4	2 以上※2	2 以上		2
救急	4	4※2	4	2		
	外科紹介症例					2
	剖検症例					1
	合計※5	70 疾患群	56 疾患群※2 任意選択含む	45 疾患群 任意選択含む	20 疾患群	
	症例数※5	200 以上 外来最大 20	160 以上 外来最大 16	120 以上	60 以上	29 症例 外来最大 7※3

※ 1 消化器分野では「疾患群」の経験と「病歴要約」の提出のそれぞれにおいて、「消化管」、  
「肝臓」、「胆・膵」が含まれること。

※ 2 修了要件に示した分野の合計は 41 疾患群だが、他に異なる 15 疾患群の経験を加えて、  
合計 56 疾患群以上の経験とする。

※ 3 外来症例による病歴要約の提出を 7 例まで認める。（全て異なる疾患群での提出が必要）

※ 4 「内分泌」と「代謝」からはそれぞれ 1 症例ずつ以上の病歴要約を提出する。

例) 「内分泌」2 例 + 「代謝」1 例、「内分泌」1 例 + 「代謝」2 例

※ 5 初期臨床研修時の症例は、例外的に当内科専門プログラム委員会が認める内容に限り、その  
登録が認められる。